



たまっくり

昭和62年

1月

第318号 (毎月15日発行)

町の人口と世帯

昭和61年12月1日現在

男 7,007人(－ 4)

女 7,134人(+ 3)

計 14,141人(－ 1)

世帯数 3,308戸(－ 1)



昨年1年間の
「広報たまっくり」の表紙

ことしは、なにが表紙をかざるかな？



玉造町長 坂本 常藏

新年のごあいさつ

明けましておめでとうござ
います。一九八七年の新しい
年を迎え、町民の皆さまにお
かれましては、希望にあふれ
た気持ちで元日をお過ごしに
なれたことと存じます。

年が改まれば気分一新、こ
としこそは、と新しい目標
を定め、意欲を燃やしてい
つしやる方もいるのではない
でしょうか。ことしも、昨年
に引き続き、充実した実り多
き一年でありたいものと思
います。

振り返ってみれば、昨年は
二月に町政を推進していく上
で指針となる『第二次振興計
画新基本計画』ができあがり
ました。計画は、自然環境と
生活環境と生産環境の三つが
調和したバランスのとれた活
力ある町づくりを目指したも
のです。この計画の基本は、

あくまでも町民の皆さまの健
康と幸せを最優先とし、時
代の要望にそつた明るく文化
的な町づくりをねらいとして
います。ことしも、この計画
にそつて諸事業を進めてまい
ります。

五月には、モダンな町営住
宅諸井団地の入居が開始され
皆さまの要望に答えることが
できました。ことしは、さら
にもう一棟が完成いたします。
九月には、皇太子殿下が町
を行啓になられました。ご
来町は昭和四十四年以来十七
年ぶりのもので、感激もひと
しおのものがございました。
さらには、明るく住みよい
豊かな農村づくりをスロー
ガンに、昭和四十九年度にス
タートした十二か年の歳月を費
やした「農村総合整備モデル
事業」が十二月に完工式を迎

えたことも忘れられません。
その内容は六、七ページの
とおりです。

町の諸事業、各種施策につ
きまして、皆さまのご理解
とご協力により順調に推進す
ることができました。とりわ
け、水田利用再編対策につき
ましては農家の皆さまのご協
力をいただきながらも、当初
目標面積に達せず、関係者を
はじめ多くの方々のご協力に
より、どうにか配分面積を達
することができました。改め
て厚くお礼申し上げます。と
に、ことしもご理解、ご協力
を重ねてお願い申し上げます。
さて、ことしはと申し上げます
と、町にとつてうれしい記念
の年になりそうです。長年の
夢であった「霞ヶ浦大橋」が
三月に完成し、開通するから
です。開通後は、県南・県西

方面との交通の便ばかりでな
く、経済的にも文化的にも交
流がひらけ、あらゆる面で町
の発展に大いにプラスになる
ものと思います。一方、上山
工業団地内の企業も順調に操
業されておるようです。
私は現在、全国町村会長の
重責をになつており、日本全
国のみならず世界を駆けめぐ

ることもあり、町を留守にす
ることもございます。しかし
一度として町を離れたことは
ございません。この重責を生
かして、地方自治とりわけわ
が玉造町の発展のために尽力
したいと、たえず心にかけて
頑張つております。ありがた
いことに体力には自信があり
ますので、ことしもばりばり

と町の躍進めざして大いに力
を発揮する覚悟です。
町民の皆さまのご支援、ご
べんたつを重ねてお願い申し
上げますと同時に、皆さまの
ご健康とご多幸をお祈り申し
上げ、新年のごあいさつとい
たします。



玉造町議会議長 飯島 具之

新年のごあいさつ

明けましておめでとうござ
います。
昭和六十二年の新春を迎え、
町民の皆様の限らないご繁栄
を心からお祈り申し上げます
とともに、常日頃から町議会
に対するご理解とご協力をい
ただき深く敬意と感謝を申し
上げます。

昨今における地方行政を
取りまく諸情勢は一段と厳し
さを増し、特に円高ドル安に
よる経済不況は、国及び地方
財政へ与える影響は税収の面
で大きく現われております。
当町の基幹産業であります

農業においても、米の生産調
整をはじめ米価の据え置き、
さらには農作物の輸入自由化
の動きなど、農家にとつて厳
しい年になりました。

しかしながら、玉造町にお
いては霞ヶ浦大橋の完成、国
道三五号バイパスの開通、
生活関連道路の整備、上山工
業団地への工場誘致など順調
に進みつつあり、今後におけ
る当町の大きな飛躍が期待さ
れるものであります。
我々議員は、何が町民の幸
せの道であり所得向上のため
尽くすべき策であるか、或は

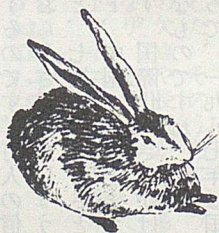
仕事をもちと経済的に、効果
的にやるべき方法がないか、
町民の立場に立つてもつと具
体的に論議し検討したいと考
えております。

新しい年を迎え、私共も決
意を新たにし活力ある豊かな
明るい町づくりの実現に全力
投球する所存でありますので
町民皆様のご支援ご協力を賜
りますようお願い申し上げます。
最後になりましたが、町民
皆様の今後におけるご健勝と
ご多幸をお祈り申し上げ、新
年のごあいさついたします。

県議選は100パーセント

茨城県議会議員一般選挙の投票が昨年
12月14日に町内15投票所で行われました。
当日の有権者数は10,360人、投票者数は
8,399人で、投票率は81.1パーセントでし
た。
玉造町の結果は次のとおりです。

香取まもる	3,119票
横田修平	4,077票
大川くにお	1,143票
無効	60票



生物学的に見ても、
ウサギはなかなかした
たか者です。砂漠、草
原、森林、高地、ツン
ドラなどあらゆる所に
住むことができ、糞(ふ
ん)を食べて反すう(へ
ど、これが例のウサギ小屋の
由来かとうなずいた次第です。
ウサギ年の今年は、国連の
定めた国際居住年に当たりま
す。貿易摩擦解消のためにも
内需を拡大してもつと住宅を
作り、みんながゆつたりとし
た家に住めるようにしたいも
のです。

ウサギは身近な動物
うか。
で、いまでも野生のウ
サギをよく見かけます。
食肉用、毛用、毛皮用、
ペットなどとして広く
飼われています。また、
昔からあるいろいろな
物語にもウサギが
よく登場していま
す。ソップ童話の
「ウサギとカメ」
や、日本の昔話の
「かちかち山」因
幡(いなば)の白
ウサギ」などが有
名です。
さてみなさんは、
これらの物語に登
場するウサギにつ
いてどんなイメー
ジをお持ちでしょ

今年は卯年

「ウサギとカメ」のウサギ
は、油断して昼寝をしてしま
うので、自信家か、それとも
なまけ者。「かちかち山」は
おじいさんのために敵うちを
するので正義の味方になって
います。しかし、それに
してもタヌキをだまして
背中にやけどを負わせた
り、その傷に唐辛子を塗
ったり、泥船に乗せたり
、ちよつと残酷すぎる
ようです。「因幡の白ウ
サギ」は知恵を働かして
ワニザメをまんまとだま
したつもりが、皮をむか
れて赤裸になつてしま
います。こうして見ると、
ウサギに対するイメー
ジはいろいろのよう



不断の努力で 自分を磨こう

1月15日は成人の日。この日、成人式を迎えられる全国138万人の皆さんの門出に、陸上競技・ハンマー投げの室伏重信さんからメッセージをいただきました。昨年10月、総理大臣顕彰を受彰された室伏さんは、20年近く

にわたってハンマー投げの日本記録を自ら更新し続け、アジア大会では前人未到の5連覇を成し遂げられました。“鉄人”と呼ばれるその強じんな肉体と精神は、どのように培われてきたのか——お話を伺ってみました。



私がハンマー投げを始め

フオームを研究

ハミリカメラで

当時、私は後にも先にも経験したことのない極度のスランプに陥っていました。私のいわば「ハンマー人生」の成人式は、このスランプを乗り越えたときだったといえるかも知れません。もし、この時のスランプ克服がなかったら、現在の私はありえなかったと思えるほど、その後の競技生活に大きなプラスをもたらしました。

私の二十歳のころといえ、ハンマーを少しでも遠くまで投げたい一心で、ほかのことはすべて二の次という、ハンマー投げ一筋の毎日でした。

新成人に贈る言葉

たのは、高校に入ってからで、一年の秋の練習中に全国大会の優勝記録を上回る記録が出せました。その後も試合で自己最高を何度も塗り替えるなど、大学三年の夏までは順調でした。ところが、三年の秋よりスランプに陥り、それまで出していた距離が投げられなくなってしまうのです。

私のハンマー投げ人生はスランプ脱出から始まった

中京大学助教授
ハンマー投げ日本記録保持者

室伏重信

なぜなのか。どうしても納得できませんでした。

当時、私は身体を鍛えることでスランプが解消できると思っていましたので、一日に三百回もハンマーを投げたこともありました。しかし、それでもスランプ脱出はなりませんでした。

思い悩んだ末に始めたのが、ハミリカメラを使ったフオームの観察です。自分だけでなく、他人のフオームも研究し

入れ、スランプを抜け出すことができましたのです。

スランプに陥っても

逃げだすな

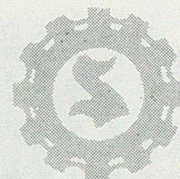
今思えば、物事を深く考え、ひとつのことをいろいろな角度から見る習慣がついたからこそ、スランプを脱することのできたのでしょう。スポーツに限らず、物事を始めれば、一度は何らかの形

あなたにもある

計り知れない潜在能力

私が現在のハンマー投げの日本記録を出したのは、三十八歳のときでした。そのときは、うれしいというより人間の持つ潜在能力の大きさに驚き、恐ろしくなっていました。

二十歳を迎えた皆さんには、計り知れない能力が「埋蔵」されているはず。それを引き出すために、目標を高く掲げ、不断の努力と工夫で自分を磨いていただきたいと思っています。あなたがたが社会で活躍するのはこれからです。成人おめでと。(談)



(年頭所感)

地域商工業の近代化元年を迎えて

玉造町商工会長 出沼忠義

新年明けましておめでとございます。昭和六十二年の輝かしい新春を迎え、町民並びに商工会関係者の皆様の限らない御繁栄を心からお祈り申し上げます。

厳しい経営環境にありました。従来よりのわが国の産業は、勤勉な労働力で良質の工業製品を作り輸出中心主義の生産形態を志向して来ましたが、外へ生産をシフトしたり、海外から部品やユニットを輸入して製品を組立てるという事

例が増えています。特に当町工業者の大部分を占める小零細企業が生産を担当していた分野が、海外へ移行しているという現実であります。まさに、国際分業化時代の到来であり、当町工業者にとっては海外という目に見えないライバルを相手にしなければならぬという状況にありま

ルする必要があります。特に三月の霞ヶ浦大橋の開通、バイパスの延長等、地域環境が目まぐるしく変化し、それに伴い、消費者の買物動向の変化や中型店の出店が予想されます。

本年は、特に三月の霞ヶ浦大橋の開通、バイパスの延長等、地域環境が目まぐるしく変化し、それに伴い、消費者の買物動向の変化や中型店の出店が予想されます。



歳時記 宝船

「なかきよのとのおねぶりのみなめざめ、なみのりぶねのおとのよきかな」この歌は、上から読んでも、下から読んでも同じですね。こういうのを回文歌と言います。

最近では宝船の絵を枕の下に置く風習はすたれましたが、正月の七福神もうでは盛んです。この時もうでる所が、神社と寺と両方まざっています。しかも、たとえば大黒天が神社に祭られていたり、寺にあ

たりするのです。町人の信仰のおおらかさなのでしょう。それと、七福神のふるさともインド、中国、日本とまちまちです。国際化のさきがけみたいなものですね。

このシンボルマークは、国連の人間居住センターが定めたもので、中央の人間は世界の人々を意味しています。周囲のオーブの枝は、国連のシンボルです。



IYSH-1987 国際居住年

整備モデル事業が完工

排水・公園などを整備

— 12か年・10億円かけて —



式辞を述べる坂本町長

「明るく住みよい豊かな農村づくり」を目ざして昭和四十九年度よりスタートした『農村総合整備モデル事業』が、昨年度に終了。完工式がさる十二月十七日に泉の農村環境改善センターで行われ、総事業費十億五千六百万円をかけ、農道や排水、公園などが整備されました。

敬意を表します」と述べました。

玉造地区農村総合整備モデル事業は、総事業費が十億五千六百万円。昭和四十九年度から昭和六十年年度の実施期間をへて完工した事業。整備された内容は次のとおりです。

農村環境 基盤整備

◇集落道を整備：全延長五四・五五mの集落道を整備しました。整備したのは次の十三か所です。

「藤井」「西谷」「新田」「横須賀」「里」「諸井（二か所）」「泉（二か所）」「浜」「羽生（二か所）」「沖洲」

◇集落排水を整備：全延長七〇・九三・三三mの集落排水施設を整備しました。整備したところは次の十四か所です。

「荒宿」「根古屋（二か所）」「西蓮寺」「新田」「舟津」

農業生産基盤整備

◇農道を整備：全延長七二・二六・七五mの農道を整備しました。整備したのは次の十七か所です。

「荒宿」「根古屋」「西蓮寺（三か所）」「新田」「竹の塙」

農村総合

農道・

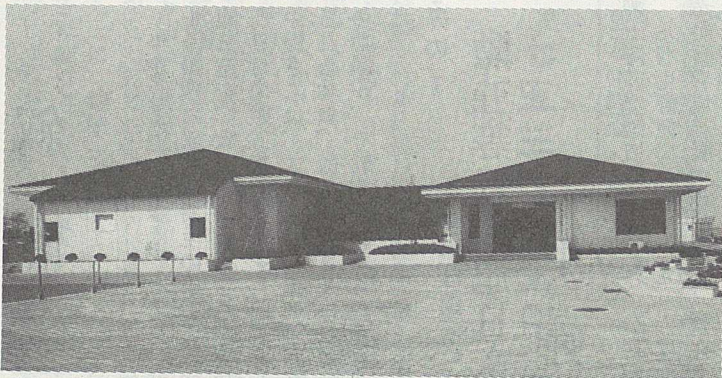
「宿（二か所）」「内宿」「高須」「芹沢」「八木蒔」「沖洲（二か所）」

◇農村公園を整備：子供たちが安心して遊べる憩いの場として、公園を次の二十か所に設置しました。

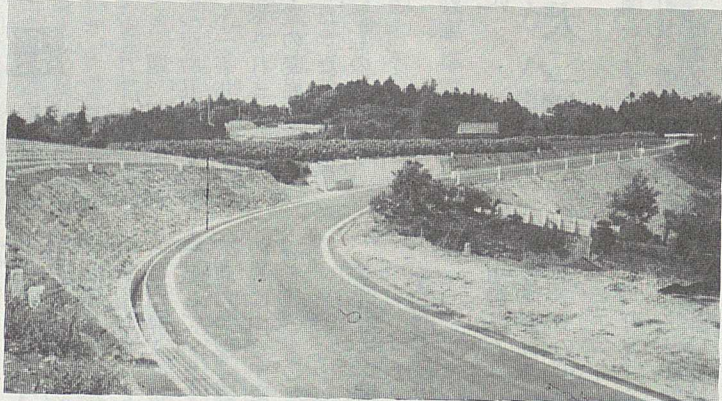
◇農村環境改善センターを建設：地域住民を対象とした社会教育施設で一棟七〇〇㎡の

建物。付帯施設として多目的広場（ゲートボール場）一三六三㎡も作りしました。

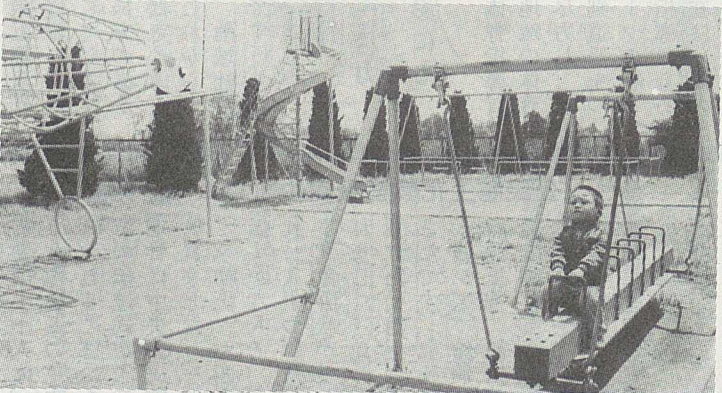
農村環境施設整備



▲農村環境改善センター



▲整備された道路



▲整備された公園

「ロメモ」

お年玉

「年玉」は新年の賜り物の意とされていますが、「賜」に「玉」の字があてられているところから、いろいろな説が考えられています。

「玉」は丸い形をしたものの総称で、珠（たま）のように美しいもの、大切なものの意味にも使われてきました。「魂（たま）」「霊（たま）」と語源が同じではないかとされるゆえんです。

年のはじめに家長が家族に与える年玉は、お金や日用品になる以前は食物に限られていたようで、米や丸餅（まるもち）などが用いられました。

民俗学では、年頭に餅を神に供え、それを家族に配ると、神の霊威が一人一人に分け与えられたものとしています。民俗学者の柳田国男（一八七五～一九六二）の説によると、丸餅はもととも心臓の形を模したものでした。丸餅の年玉には、丸い意味の「玉」と、心を意味する「霊」の両義がこめられていたことになりす。そうしたお年玉の精神的な意味を、見直す必要があります。

叙勲二題

年が改まった新春に、めでたい話題を二題。昭和六十一年秋の叙勲に羽生の中野大二朗さんが勲五等双光旭日章を、故大和田徳男さんが昭和六十一年九月二十八日付で勲五等瑞宝章を、それぞれ受章されました。中野さんは、スポーツの振興と郵政事業の発展に寄与された功績、故大和田さんは長年にわたった消防業務の功績が、それぞれ認められ受章されたものです。

そのI

勲五等双光旭日章に

中野 大二朗さん



謝辞を述べる中野さん

「勲五等双光旭日章」を受けた、元羽生郵便局長並びに元玉造町体育協会長の中野大二朗さんの叙勲を祝う祝賀会が、昨年十二月十三日に町の中央公民館で開かれました。発起人は坂本町長、飯島町議会議長ら七人。祝賀会には招待を受けた体育関係者らが出席し、中野さんの叙勲を祝いました。祝賀会では、発起人を代表して坂本町長が「長いご功績がこのたびの叙勲となった。本人一人の功績でなく町民みんなの喜びでもあります。誠にめでたいかぎりです。私を忘れた地域の為、若い人たちの為に努力されている方は少ないと存じます。今後とも、地域スポーツの振興の為に努めたい」とあいさつ。

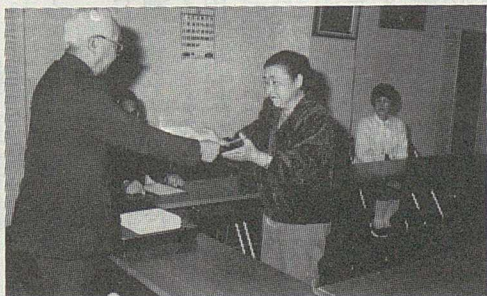
これについて中野さんは「このたびはからずも勲五等双光旭日章の受章の栄に浴し、身に余る光栄と感激しています。これもひとえに皆様方の温かいご指導ご支援の賜と心より感激しています。これからも天命のつづく限り、地域社会の為に尽くす限りです」と謝辞を述べました。

スポーツ振興に尽力 文部大臣表彰にも

中野さんは、町体育指導員、体育協会長として地域の体育スポーツの振興に尽力し、自らテニスコート、剣道場をつくり、町民にスポーツの場を提供すると共に、指導にもあたられました。現在は、県の軟式庭球連盟会長として組織の充実と軟式テニスの普及に大いに力を発揮されています。昭和五十九年十月には、社会体育功労者として文部大臣の表彰を受けました。一方、昭和十七年から五十八年六月までの四十一年間羽生郵便局長として郵政事業の発展に寄与されており、こうしたさまざまな功績が認められ叙勲となったものです。

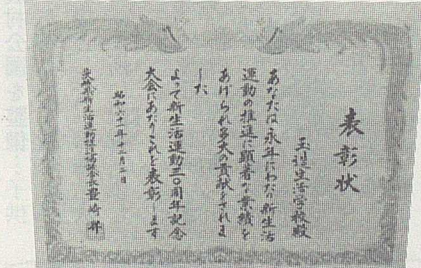
公民館生花教室受講生10人に「免許」が

公民館の「生花教室」の受講生十人に、このほど龍生派の免許が与えられることになり、その伝達式が十二月十七日に中央公民館で行われました。「初伝」が四人、「中伝」が六人で、それぞれ一人ずつに八木館長より免許状が手わたされました。免許が伝達された受講生は次の皆さんです。(敬称略)大輪シズ、館洞久美子、館洞里香、鶴田慈子、滝崎初江、弓削栄子、代々城町子、海老沢広江、梅原富美子、並木美子。



館長より一人ひとりに免許状が

「生活大学」が表彰



「玉造町生活大学」(受講生五十四人、関野ケイ委員長)が、十二月二日に水戸市で行われた「新生活運動推進三十周年記念大会」で表彰を受けました。昭和四十七年に玉造町生活大学が発足して以来、新生活運動の推進での功績が認められ表彰を受けたものです。生活大学では、もう一度身近なところから生活を見直そうと、リフォーム(再利用)や不用品のバザーなどを開き活躍しています。

そのII

勲五等瑞宝章に

故大和田 徳男さん

昨年九月二十八日に忘れた柄貝の故大和田徳男さんに、当日付で勲五等瑞宝章の叙勲があり、遺族の方に伝達されました。

故大和田さんは、長年消防業務にたずさわられてきたそ

消防勤続四十年

昭和十七年一月から二十二

年八月まで町の警防団員となり、二十二年九月からは消防団員となり、以来ずっと消防業務にたずさわられ、三十五年四月から四十年三月まで消防団副分団長、四十年四月から五十年三月まで副団長、五十年四月から五十八年四月までは団長として活躍されました。五十七年九月には県知事より永年勤続功労章(勤続四十年)を受けました。

収穫した米で モチツキ大会

現原小

現原小で全校児童とその父兄が参加してモチツキ大会が十二月九日に校庭で行われました。現原小恒例の行事で、父兄にまじって子供たちも実際にキネを持って、モチツキを楽しみました。栗原校長は児童たちを前に「五・六年生が、石田さんの田四アールをお借りして春に田植えた。秋に稲



モチツキをする児童たち

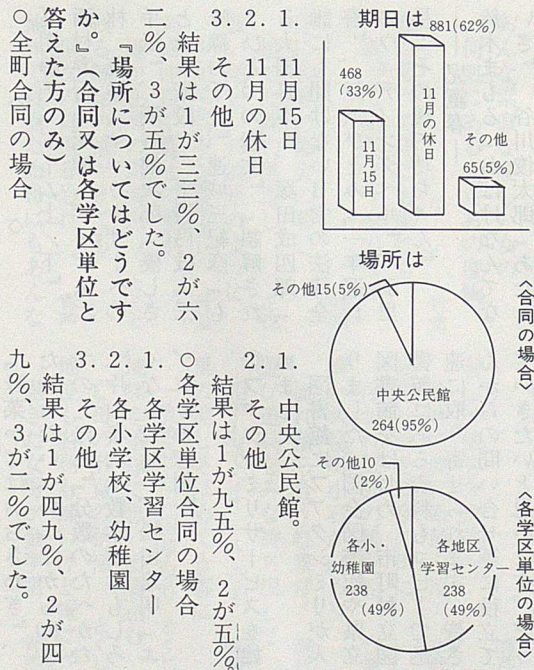
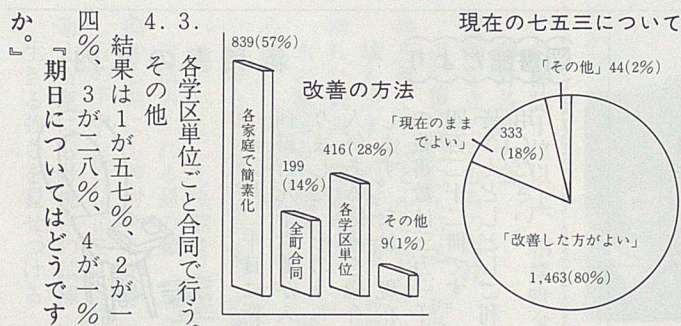
生活大学アンケート

「七五三」は簡素化に「が八割」

全町対象に、回収率は六割

全町を対象に昨年十一月生活大学が行った「七五三の祝に関するアンケート調査」の結果がわかりました。回収率は五九%でした。現在の派手になりがちなの祝いについては「改善すべき」が八〇%、その方法は「各家庭で簡素化に」が五七%でした。この結果をもとに、紐解祝いをもう一度各家庭で考えてみてはいかがでしょうか。

『現在の七五三の御祝をどう思いますか?』
1. 現在のままでよい。
2. 改善した方がよい。
3. その他。
結果は1が一八%、2が八〇%、3が二%でした。改善を求める声が多かったようです。『改善の方法はどのようにしたらよいのか。』(改善した方がよいと答えた方のみ)
1. 各家庭で簡素化を行う。
2. 全町合同で行う。



各学区単位の場合

各学区単位の場合

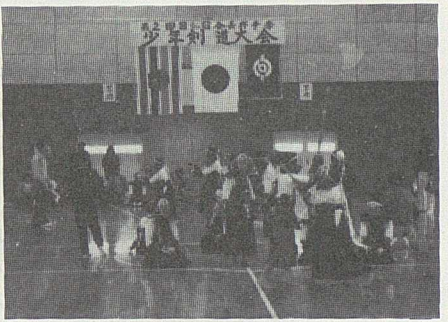
スポーツ

B & G 杯少年剣道大会は「玉川」が優勝

十一月三十日に『第二回B & G会長杯争奪少年剣道大会』が行われ、玉川小スポーツ少年団が団体優勝しました。大会には町内から六チーム、百五十人が参加しました。結果は次のとおりです。

(敬称略)

◎団体戦
優勝玉川、二位現原、三位手賀、玉造山王
◎個人戦
優勝大場勉、二位山口真樹、三位谷田誠、成島正蔵
△三・四年生の部
優勝大場勉、二位山口真樹、三位新津正江、黒沼裕之



楽しかった

「家族ハイキング」

町体協主催による恒例の『家族ハイキング』が、十一月



十六日に行われ、三十人の家族が参加しました。今回は、日立市の御岩山から神峰公園までのハイキングで、全員心地よい汗をながしました。

新刊書の案内



十二月二十日に新刊書百九十六冊が入りました。そのうち人気ある図書を紹介します。なお、現在の蔵書数は三万一千四百二十二冊です。皆さんどしどしご利用ください。

図書館だより

夏樹静子『ドーム上/下』
西村寿行『死神(ザ・デス)』
林 茂雄『マッカーサーへの手紙』、灰谷健次郎『優しいさ』という階段』、平岩弓枝『三味線お千代』、連城三紀彦『もうひとつの恋文』、『誤解される大岡政談』、塚田成四郎『誰にも聞けない日常の法律全書』、戸沢ひとみ『一年遅れのウェディングベル』、羽里昌『その後の坊ちゃん』
児童春
鈴木まもる『おばけなんてないさ』、谷川俊太郎『あたしのあなただけのア』、高野紀子『野菜かごはおおきわき』、たむらいたいへい『1から100までのえほん』、分数のたべかた『片山孝次』、数学がおもしろくなる12話』、松田忠明『エゾジカの悲劇』
◎ファクシミリサービスを始めました。
図書館にファクシミリが入りました。国会図書館や県立図書館をはじめ、市町村立図書館にある資料もコピーで迅速に取り寄せられます。皆さんからの問い合わせ等に役立てていきたいと思ひます。どうぞご利用ください。

参加しませんか
青年県外研修
〈能登・金沢〉
▽日程 二月十九日(木)～二月二十二日(日)
▽宿泊場所 石川県羽咋市「国立能登青年の家」、金沢市「六華荘ホテル」
▽参加費 四万円
▽申込期限 一月三十一日(土)
▽申込先 玉造町教育委員会社会教育係(☎五〇一一一)

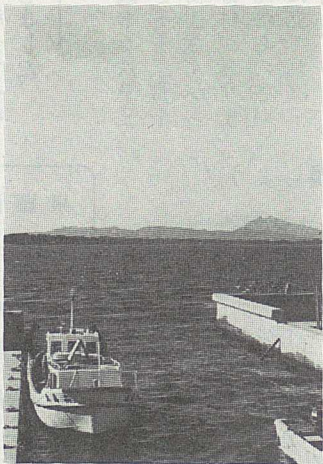
▽参加資格 町内に居住する三十歳未満の青年男女(但し学生生徒を除く)
人権相談が開かれます
▽とき 二月十二日(木)午後一時～午後四時
▽ところ 玉造町中央公民館
▽担当者 人権擁護委員・法務局職員
▽相談の内容 金銭貸借、借地、借家、交通事故、騒音、悪臭、公害、家族間の不和、不動産の売買、賃貸借、登記、

相続などの一般法律相談
▽その他 相談は無料。なお、常時次のところで相談を行っています。水戸地方法務局麻生支局 ☎〇二九九(七二)〇四六六



柏崎・浜 渡船のおもいでさがしています、一枚のスナップ

当町と新治郡出島村を結ぶ『霞ヶ浦大橋』の架橋工事が、昭和六十二年春の開通をめざして急ピッチで進められています。この橋が完成しますと、現在浜と対岸の柏崎を結ぶ県営渡船が姿を消すこととなります。この渡船は、昭和四十年から県の委託を受けた出島村で運航しているもので、現在は午前七時から午後五



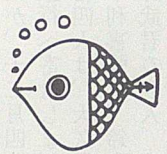
時まで八往復しています。出島村から玉造工業高校へ通う生徒の利用が中心で、一日平均約六十人の利用があります。当町と出島村を結ぶ渡船の歴史は古く、明治十二年の記録にも三つの渡船が出ています。一つは高須と田伏村石田、二つには浜と柏崎村歩崎・田伏村石田、そして三つは舟津と田伏村大崎があります。当時、それぞれ二銭五厘から三銭七厘の料金で乗ることができました。

その後も柏崎、浜の管理の下に運行されて県営へと至ったのでした。このたび、廃止となる渡船についての記録・保存をするため、町民のみなさまのお手許にあるつかしい一枚の写真や絵をお借りしたいと思ひます。

テーマ「玉造と出島を結ぶ」

玉造町郷土文化研究会、編集委員会では『玉造史叢第二十八集』の原稿を募集しています。「霞ヶ浦大橋」の開通で、出島村との交通が今まで以上に盛んになると思ひます。霞ヶ浦高浜入

公民館児童教室



昭和六十一年度全国誌掲載の優秀吟 南風誌十位以上不孝詫びても消えない過去が生れ故郷を遠くする 藤娘 孫も一緒に転けてじゃれて可愛い子猫の鈴が鳴る 秋扇 何処で捨てたか置き忘れたか 郷里を出た日の大っかい夢 とくじ

風邪を引かぬか着せ替え人形 孫が手間どる更衣 とくじ 無事に退院なつかし厨 明けりや眩しい柿若葉 秋扇 夏の暑さが景気の決め手 海へ出店の葦簀張り 有美 続く炎天入道雲を 眠む伽藍の鬼瓦 秋扇

白樺誌十位以上、相撲吟全 勝外各地大会 意地を立ててもあの霜柱 温い情の陽にとける 正花 農を継ぐ子にとんとん拍子 嫁も決まった寅の春 令音 晴れた筑波へ筒先向けて 水の幕張る出初式 扇 心優しく素直な嫁で 何時も我が家は春の風 竹堂 ベスト尽くして受験をしたと 自信あふれる孫の顔 令音 萌ゆる草にも苦勞のくの字 石の下から折れて出る 正花 萌える草にも野焼きの試験 生きる強さを見せつける

あんな素直な優しい女の 何処にあるやらあの度胸 竹堂 汗に苦勞の都会の暮し 捨てた裸の里恋し 正花 長い尾ヒレの流星のように 声が尾を引く金魚売り 竹堂 夫婦仲良く暮せの手本 俺が在所の筑波山 とくじ 残る無念の端々までも 巫女の口借る恐れ 青声 地味で目立たぬ母にもあんな

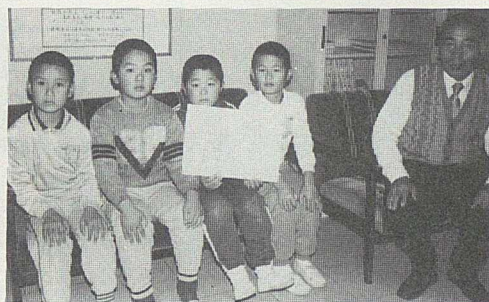
昔しや俵を今舟歌を 乗せて流れる最上川 正花 旅の一夜を長良の川に 浮かれ気分のかつね 竹堂 流れ落ち合う紅葉浮く 幾代 遊び道具をみな持ち出して 相手もてなす一人っ子 夜蝶 里の涼しさはほめてる客に 一度させたい田草取りとくじ 地味を承知で思ひ出着込む 亡母の形見の秋裕 とくじ 地位も名利も無いけど俺にや 過ぎた女房が金字塔 青声

拾ったお金を

善意銀行へ

― 玉川小の四人
の良いい子 ―

現金二万五百円を「困っている人たちのためにやく立て下さい」と、玉川小学校三年生の四人が、十二月四日に町の善意銀行へ寄付しました。寄付した四人は、大久保明彦君、鈴木利喜弥君、鈴木知勝君、関野武君の四人。昨年二月に下校途中で拾った財布を警察署に届け、落とし主が現われなかったため、四人に



玉川小の良いい子たちと校長先生

さい銭10万円を

善意銀行へ

浜のコインスナック亜季に建立された『しあわせ観音』



町民課を訪れた井川さん

へあがったさい銭十万六千三百四十三円が、さる十二月十五日に浜の井川初江さんから町の善意銀行へ寄付がありました。「みなさんからのさい銭が善意のお役に立てれば」と井川さんは話しています。

現原小へ雑巾

さる十二月二十日に現原小へ雑巾百七十枚が寄付されました。寄付したのは、捻木老人クラブ（森作功会長）のお人寄りたちです。

一人で悩まず相談しよう！

いじめ・体罰テレホン相談

0292-31-5500

平日 午前8時30分～午後5時
土曜日 午前8時30分～午後0時30分
※日曜・祝日は除きます。

― 水戸地方方法務局人権擁護課 ―

休・祭日当番医

1/15 成人の日 根本医院 ☎50138
1/18 日曜日 金塚医院 ☎50556
1/25 日曜日 方波見医院 ☎50551
2/1 日曜日 根本医院 ☎50138
2/8 日曜日 関野医院 ☎60102
2/11 建国記念日 方波見医院 ☎50551
2/15 日曜日 金塚医院 ☎50556
(診療時間) 午前9時～午後4時

編集
後記



○明けておめでとうござ
います。ことしも一年よろし
くお願い致します。
○昨年一年間の表紙を掲載し
ました。表紙は広報の顔。親
しみやすさが一番ですが、我
ながら「いまイチノ」の感
まぬがれません。ことしはフ
レッシュな感覚でいこうかな。

泉	藤	西	西	上	西	藤	若	根	西	若	西	西	加	と
井	谷	蓮	寺	宿	谷	井	海	屋	蓮	海	蓮	谷	茂	ころ
大	飯	高	根	飯	橋	梅	菅	関	小	根	齋	高	安	ちゃん
場	島	野	崎	田	本	原	沢	野	瀬	崎	藤	野	子	幸
由	和	順	千	知	雄	絵	哲	正	良	め	ぐ	み	平	幸
希	男	子	涉	明	美	太	理	也	美	典	み	み	幸	幸
長	長	二	二	二	長	長	長	長	二	長	長	長	二	続
女	男	女	男	女	女	男	女	男	男	男	女	男	男	柄
由	義	哲	和	勝	和	健	嘉	俊	俊	恵	克	鉄	保	産
雄	昭	彬	郎	夫	義	男	次	之	雄	男	朗	己	雄	者

西	羽	捻	若	芹	小	新	と
蓮	生	木	海	沢	座	宿	ころ
寺	生	木	海	沢	山	宿	ころ
金	小	杉	富	若	野	郡	氏
塚	澤	山	田	泉	原	司	名
嘉	喜	忠	キ	利	五	月	名
文	平	治	ミ	夫	勝	月	名
五	七	八	六	七	三	八	年
七	四	三	九	六	六	二	齢

おやみき
申しあげます

死亡

（11月）

羽	羽	西	諸	捻	加
生	生	蓮	井	木	茂
山	野	寺	飯	藤	大
崎	口	瀧	島	崎	場
智	有	崎	総	真	美
梢	行	希	一	美	香
二	三	長	長	二	長
女	男	女	男	女	女
良	正	幸	孝	信	勝
夫	夫	男	男	一	勝